

平成18年
(2006)



喜界きかい

12

No.474

町村合併50周年記念



今月の紙面

- 表紙 あの日 あの頃
- 2～3面 第41回駅伝競走大会（町村合併50周年記念）
- 4面 診療所存続、空港ビル改築…島の課題を町民に説明
- 5面 アリモドキゾウムシ不妊虫散布など
- 6～7面 まちの話題
- 8面 お知らせ
- 9面 保育所入所案内
- 10面 教育委員会のとびら
- 11面 喜界歌壇・戸籍の窓・社協だより・アイドル
- 12面 証の数々～受賞の喜び～

撮影は一九五七年七月二十七日とある。当時、堆肥、耕作、運搬用として活躍した喜界馬。その名の由来は文献などには明確に記されていません。荒木ムタから手久津久・上嘉鉄をバックに荒木在住の福本茂仁氏が撮影。当時のムタはモクマオウなどが植栽されておらず、かなり見晴らしが良かったそうです。写真の喜界馬は輝豊進（故人）が所有していました。

喜界馬

あの日 あの頃

上嘉鉄A、2年ぶりに王座奪還

第41回島内一周駅伝大会 (町村合併50周年記念)



優勝した上嘉鉄チーム

終盤、赤連・池治振り切る

町村合併五十周年記念第四十一回島内一周駅伝競走大会(十五区間/三三・二キロ)が十一月二十三日、新しく新庁舎前を発着点として開催された。今年の上嘉鉄Aが一時五十八分五十二秒を記録、一・一キロ延長されたコースを制し、二年ぶりに王座に返り咲いた。二位は赤連・池治、三位は湾A。Bブロックは荒木が総合でも四位に入り優勝した。(区間距離が変更になったのは一区と二区、最終区の十五区)

今年の大会は総勢百九十五人が出場し、終始白熱したレースを展開。力強く駆け抜ける姿に、沿道に詰めかけた大勢の観客から温かい声援が送られた。選手は汗で変色するタスキに校区の意地と名誉をかけ、喜界路を走破した。

勝負を決めたのは終盤の十三区。昨年、同区間でトップを奪われ優勝を逃した上嘉鉄Aが、今大会は逆の展開を見せ、澄田直敏選手が区間記録

一位の力走で走り抜き、赤連・池治を振り切った。

区間新記録では、六区(一般)で町の中距離ランナーを代表する前島将太選手(上嘉鉄A)が自身の記録を更新。積山寿久選手(坂嶺)も安定した走りで見事な記録を打ち出した。八区(高校生)では中距離で高校陸上部で活躍する富田健太選手(上嘉鉄A)。十区(小学生)はKKB陸上フェスタ(鹿兒島市)で区間記録を打ち出すなど活躍が著しい三浦大輝選手(赤連池治)が力強い走法を披露し、十四年ぶりに記録を樹立した。

区間タイム(敬称略)

- 【1区 11.2キロ・小学女】
 - ① 浦口友華(湾A) 4分00秒
 - ② 吉富莉穂(湾B) 4分11秒
 - ③ 栄 舞(志) 4分19秒
- 【2区 11.8キロ・中学男】
 - ① 賀 光哉(赤) 9分22秒
 - ② 正木勇太(湾C) 9分48秒
 - ③ 植村一平(荒) 9分51秒

- 【3区 11.7キロ・高校女】
 - ① 藤崎由実(荒) 6分8秒
 - ② 園田未樹子(赤) 6分23秒
 - ③ 光 美紀(早) 6分26秒
- 【4区 11.78キロ・40代男】
 - ① 松本 望(早) 6分14秒
 - ② 梶原貴史(上A) 6分29秒
 - ③ 前底浩千(湾A) 6分41秒
- 【5区 11.6キロ・中学女】
 - ① 美代奈津実(湾A) 5分42秒
 - ② 登小菜瑞(荒) 5分52秒
 - ③ 生島小梅(上A) 5分56秒
- 【6区 11.383キロ・一般男】
 - ① 前島将太(上A) 13分15秒
 - ② 積山寿久(坂) 13分20秒
 - ③ 山根敦介(赤) 13分51秒
- 【7区 11.2キロ・中学男】
 - ① 石原久弥(湾A) 6分30秒
 - ② 久保侑喜也(湾C) 6分40秒
 - ③ 加藤 旭(赤) 6分42秒
- 【8区 11.19キロ・高校男】
 - ① 富田健太(上A) 6分48秒
 - ② 富田和範(湾A) 7分8秒
 - ③ 三田美将大(志) 7分18秒
- 【9区 11.70キロ・中学男】
 - ① 安岡祥平(赤) 9分1秒
 - ② 梅 龍飛(上A) 9分10秒
 - ③ 松元翔太(湾C) 9分31秒
- 【10区 11.4キロ・小学男】
 - ① 三浦大輝(赤) 4分23秒
 - ② 来 龍平(湾A) 4分45秒
 - ③ 前底勇輝(湾B) 5分2秒
- 【11区 11.3キロ・一般男】
 - ① 谷口 亨(赤) 10分56秒

▶14区逆転で優勝へ導いた上嘉鉄Aの澄田選手



- ③ 夏目淳一 (坂) 11分7秒
- ④ 益田辰也 (荒) 11分30秒
- 【12区 3・5・6キ・高校男】
- ① 柳 竜生 (早) 11分50秒
- ② 久保圭輔 (湾B) 12分5秒
- ③ 生田恭平 (上A) 12分6秒
- 【13区 1キ・一般女子】
- ① 上島仁美 (早) 3分39秒
- ② 隈元ゆみこ (赤) 3分41秒
- ② 坂井 夏 (上A) 3分41秒
- 【14区 2・8キ・30代男】
- ① 澄田直敏 (上A) 10分7秒
- ② 牧健一郎 (早) 10分10秒
- ③ 柳 卓也 (荒) 10分38秒
- 【15区 1・6・4キ・45歳以下男】
- ① 林 文仁 (湾A) 6分14秒
- ① 松元秀雄 (湾C) 6分14秒
- ③ 祝 義文 (上A) 6分26秒

熱走! 駅伝ダイジェスト



▲選手宣誓する積山寿久選手 (坂嶺)

▶号砲とともに一斉スタート



▲よく頑張った!



▲まだまだ健在! 区間賞の松本選手



△「さあー来い!」気合満々の前川選手 (赤連・池治)



▲1区トップで通過する浦口選手



▶力強い走りで区間新記録。赤連・池治の三浦大輝選手

選手の皆さん、お疲れさまでした!

診療所存続、空港ビル改築…島の課題を町民に説明



15地区で町政懇談会開かれる

地域住民と行政関係者が膝を交え、行政課題について直接語り合う「町政懇談会」が十月三十日～十一月二十七日の期間中、荒木集落を皮切りに十五会場で実施された。

町側からは、加藤町長、藤村助役、直島収入役、晴永教育長はじめ各課長・事務局長が出席。加藤町長は延べ四百九十人に上った参加者に対し「町民の皆さんの率直なご意見を伺いたい」と行政参画を促し、意見を聴取した。

今回のテーマは次の通り。▽意見交換として進められたテーマ(二項目)

①喜界町国民健康保険診療所

の現状

②喜界空港ターミナルビル建設▽各課からの報告(四項目)

③行財政改革の進捗状況

④保育所の民営委託

⑤ゴミの現状(指定袋)

⑥渇水対策

※意見交換と各課報告の概要

① Ⅰ 診療所は年間約二千万円もの赤字が計上されている。また、全国的に問題になっている医師不足も島は例外ではない。

医師の常駐について、今後、財政面などを含め、島の実態にあった診療所のあるべき姿について、診療所医療環境調査業務委託の経営診断で検証を進めていく必要がある。

② Ⅱ 空の玄関口・空港ターミナルビルは、老朽化や機能性などの問題があり改築が必要。この問題は、議会や行政も所有者の奄美航空㈱と直接交渉し、現状の打開策を検討している。

空港利用促進協議会や町民有志による出資などを募り、また、第三セクターを設立する趣意書などを検討すること、今後の方向性のひとつ。いずれにせよ、改築に当たっては町当局(財政)の支援が

必要である。

③ Ⅲ 財政状況は、地方交付税の減額によって依然厳しい状況下にある。しかし平成十六年度から五年間、報酬や人件費などを削減。また、平成十九年度に町堆肥センターを民間委託するなど支出抑制に努めている。これら積極的な行財政改革の導入により、財政改善が進められている。

今後「集中改革プラン(適正人員配置計画など)、行財政改革」を積極的に実施し、人件費を下げながら住民サービスに支障が出ないよう健全な財政運営を図っていく。

④ Ⅳ 行財政改革の面や保護者の保育時間の延長などの要望があり、保育所民営化を進めている。本格的に民営化に移行するのは平成二十年が目途。過日、民営化説明会を開き、現在六業者が説明を受け、今後選考に入り、平成十九年一月に正式に決定。従来

の入所受付は行政で。保育料などの増額は考えていない。

⑤ Ⅴ 粗大ゴミや燃えるゴミなどは、指定袋・持ち込み料などの導入後は、排出量は格段に少なくなってきた。これに伴い、クリーンセンターでの焼却費などにかかる経費が

減少傾向にある。しかし、ゴミの排出量は手放しに喜んではおれず、不法投棄などの懸念材料もある。不法投棄をさせないよう町民の意識改革が大事なので、不法投棄を見かけたら役場か警察まで連絡してほしい。

⑥ Ⅵ 特に梅雨時期以降、五カ月間で二百二ミリの降雨はあるものの、水量に影響を与えるほどではないため、数カ所の貯水施設については、いくつか制限がかけられてくる。これらのことに対応するため、地下ダムの水を活用する手続きを行い、町民の生活に支障をきたさないよう努力している。

◇出席者

湾39人／赤連39人／中里42人／荒木14人／手久津久30人／上嘉鉄37人／先山・浦原19人／川嶺・羽里・山田28人／城久・滝川・島中23人／大朝戸・西目23人／坂嶺・伊砂41人／小野津・伊実久48人／志戸桶・佐手久55人／塩道・早町・白水・嘉鈍28人／阿伝・蒲生・花良治24人(合計490人)

※次号は質疑応答の概要を紹介します。



第二十九回英語暗唱・弁論大会が十一月十四日、第二中学校で開かれ、町内三校から十二人が参加した。出場者は、テーマに沿った英語暗唱、自作の国語弁論を、個々の表現力を交えて発表した。「論旨の明確性・話の内容・暗唱

力」など厳しく審査した結果、暗唱の部では第二中学校二年の伊集院恵さん、国語弁論の部は早町中学校一年の西野亜紀さんがそれぞれ最優秀賞に輝いた。見事に好成績を収めた二人は、十二月十三日に奄美市で開かれる大島地区へ出場する。

伊集院さん(第二中)、西野さん(早町中)が最優秀賞

第29回英語暗唱・弁論大会

アリモドキゾウムシの完全根絶を目指し、大島支庁農林課と農業環境協会、ヤンマー九州㈱などが十一月八日から三日間、荒木圃場において、無人ヘリによるアリモ



▲蛍光着色したアリモドキゾウムシ

アリモドキゾウムシの根絶目指す

不妊虫散布試験を実施



無人ヘリによる散布

ドキゾウムシ不妊虫散布試験を合同で実施した。試験では、無人ヘリに装着した放飼装置の中の不妊虫を、上空約四メートルから自然落下させ、決められた飛行時間に対する散布頭数や面積を調査するとともに、虫へのダメージや寿命などの試験も併せて実施し、実用化を図っていく。

また、圃場約三十八畝に十万匹を放飼する広域散布試験も同時に行われた。

サトウキビ植え付けの効率アップ

羽里圃場で新型機実演会

サトウキビの植え付け作業の効率化を目指し、井関農機株式会社が開発した側枝苗植え付け機械の実演会が、このほど羽里圃場であり、農家や生和糖業の関係者らが



機能性を確認した。関係者は「今度のサトウキビ移植機は省力化が図られ、機能性も高い。一人でも容易に作業ができる」と話し、今後の効率的な生産体制に期待を寄せている。町産業振興課によると、側枝苗は来年の春植から一本十四円で販売する予定である。同課の担当者は「圃場一反に植え付けをすることで、畝幅百二十センチ、三十五センチ間隔で約二千四百本

美しい喜界島を守ろう

伊実久・前金久地区で清掃作業



の側枝苗が必要。側枝苗は株出が良好で発根後の欠カブが少ないのも魅力。但し、水は必要条件となる」と説明した。

活動は海岸に漂着したゴミの除去や公共施設の保全管理、不法投棄の防止啓発などが目的。県農村振興技術連盟喜界支部が呼び掛け、町役場・喜界土地改良区・土改連喜界支部の関係者、関係建設業者、同集落民ら約百五十人が参加。約三時間にわたって海岸沿いに漂着したゴミや空き缶などを拾い、護岸沿いに生い茂った草などを丹念に刈り取った結果、一帯は見違えるようにきれいになり、参加者は満足そうな表情を浮かべていた。

土地改良施設の維持管理活動の一環として行われている清掃活動が十一月十一日、伊実久・前金久堤防周辺であった。

「ゴマの粉穀や自動車の不法投棄が見受けられる。公共施設への維持管理は地域の協力が必要」と話した。

した八百六十七柱の御霊に哀悼の意を捧げた。

加藤啓雄町長が「悲惨な戦争から六十一年の歳月が流れた。戦争体験を風化させることなく、後世に語り継いでいくことを誓う」と哀悼の言葉を捧げた。

平和への感謝 新たに戦没者追悼式催される

乾和夫町議会議長、築園清光町遺族会会長、黒崎浩一自衛隊喜界島通信所所長がそれぞれ追悼の言葉を述べ、長田昭八郎氏が「世とともに 語り伝えよ国の為 命を捨てし人の功を」と献詠を捧げた。

町の戦没者追悼式が十一月九日、自然休養村管理センターであり、遺族や関係者約百六十人が参加。日清・日露・太平洋戦争で没

塔で慰霊祭があり、町や遺族会の代表が献花し、御霊を慰めた。





祝！喜界チームが 全国大会出場決定 K K B小学生陸上フェスタ

TOWN
まぢの
話の
題
News



「K K B小学生陸上フェスタ二〇〇六」が十一月四日、県立鴨池陸上競技場で開催された。喜界町からは選考会で選ばれた代表八人が駅伝大会に初参加し、見事全国大会出場を決めた。

駅伝には県内の十七チームが出場し、一人一・五キロを女子と男子が交互に走りながらたすきををつないだ。

喜界チームは、一区で浦口友華さん(湾小六年)が二位の好スタートを切り、続く二区で三浦大輝君(湾小六年)が区間最高の四分四五秒を記録、トップに躍り出た。三区・平奈々美さん(湾小六年)も区間賞を獲得する走りで差を広げ、四区・小山拓海君(湾小六年)五区・吉富莉穂さん(湾小六年)もトップをキープ。アンカーの来龍平君(湾小六年)も区間賞の快走を見せ、堂々の優勝を果たした。当日は、喜界町に縁のある多くの方々が応援に駆けつけ、選手とともに感激を味わった。

がんばれ！自転車日本一周

出発から半年 松山市の旅行者が来島

心に残る風景を描きながら自転車で日本を一周中の向井美佐さん(66)が十一月六日、喜界町役場を訪れた。

向井さんは五月十日に愛媛県松山市を出発。関東、北陸地方を経て、反時計回りで旅を続けている。「全国の人々との出会いや心の触れ合いも楽しみのひとつ。ゆっ

くり自然の中を走ると、自然がつくる物には精霊が宿っていると感じます」と向井さん。道中で描いたスケッチは二十三枚で、いずれも繊細で明るい色使いの秀作である。

今後は奄美群島を南下して沖縄の各離島を巡り、来年三月に松山に帰郷の予定だという。

落語の魅力 親子で楽しむ

喜界子ども劇場がイベント

四・二十五日、大阪の万博記念公園で開催される「第九回全国小学

生クロスコントリビューター大会」に出場する。

劇団前進座「青少年劇場」が、喜界子ども劇場の招きで来島した。十一月八日には町コミユニティーセ

親子連れが楽しんだ。

「くずしい屑屋でござい」は、古典落語「井戸の茶碗」を基にした舞台劇。正直者の屑屋を中心に、登場人物が騒動を繰り広げる物語で、「もったいない」の精神でリサイクルに徹し、ごみのない町をつくらせていた江戸時代の庶民の暮らしぶりがうかがえる。訪れた



また、十月十四日には、母子寡婦会員が「異団体の親睦を広めよう」と呼びかけて、阿伝集落の圃場でジャガイモの植え付け作業を実施。子ども劇場の会員らと共に汗を流し、交流を深めた。

親子は、落語の伝統的な話芸の一端に触れ、興味深そうに見入っていた。

喜界子ども劇場は「子どもに優れた生の舞台(芸術)を鑑賞させ、地域の児童文化の創造・発展に努力し、子どもが本来もつ潜在的な創造性などを育み、健全な成長を図る」ことを目的に、平成五年七月に発足。結成十五周年を来年に控え、ますます精力的に活動している。

華麗なばちさばきで圧倒 大盛況！ 奄美太鼓祭り



奄美群島内十二団体の和太鼓グループが一堂に集い、勇壮なばちさばきを競い合う「第七回奄美太鼓祭り」(同実行委員会主催)が十一月二十四日夜、町体育館であった。

今年の祭りのテーマは「再び甦るあの感動、あの鼓動」。出演者数総勢百三十人が和太鼓・エイサー太鼓を会場いっぱい響かせ、千人余りの観客を圧倒した。

「エイサー」でオープニングを飾り、小野津獅子太鼓、子どもエイサー三団体の共演など、各チームがそれぞれ個性あふれる演奏を披露。躍動感あふれる演奏が続く中、上嘉鉄青年団による盆踊り、六調が繰り広げられた。

最後は出演者全員による合奏で締めくくられ、会場から大きな拍手が上がった。

盛大に創立記念祝う

島内の三小学校でこのほど、創立記念を祝う式典が相次いで催された。

・坂嶺小学校（110周年）

十月二十九日、在校生・学校関係者の参加の下、体育館で記念式典を開催した。

当日は創立百周年記念学習発表会のほか、「教育の今昔を語る」と題し、地元の喜久秀人氏が講演。

続いて開かれた祝賀会には、奄美の唄者・当原ミツヨさんが駆け付け、記念行事に華を添えた。



坂嶺小

また、体育館舞台用の暗幕を寄贈した沖繩在住の森岡齋四郎氏に、玉岡克己実行委員長から感謝状が贈られた。

・荒木小学校（120周年）

荒木小学校の記念式典は十一月五日、町長はじめ在校生・卒業生ら約二百人が参加し、体育館で開催された。

三・四年生による「島口」劇の学習発表会で幕を開け、式典や、



荒木小

晴永清道教育長の講演「やればできる荒木の子」三十年後も豊かな喜界島をめざして」があった。その後は祝賀会に移り、創立百二十周年を盛大に祝った。

また、加島直氏、加島昇氏、大岡ひさ子氏に、大岡茂実行委員長から感謝状が贈られた。

・小野津小学校（100周年）

十一月二十六日の小野津小学校

故郷への思い花に託す 湾小 地元出身者がサクラ寄贈

関西湾校区会（中川忠彦氏＝湾出身）は十一月二十一日、湾小学校（古田龍藏校長・二百九十四人）にヒカンザクラの苗木三十本を贈った。

「今年の総会で承認し、湾中里集落出身の会員から寄付を募つ

の式典会場には、加藤啓雄町長、島外から西榮四郎氏、永田大和村長、卒業生、在校生、保護者が多数集まった。

記念式典では加藤町長が「伝統ある校風をしっかりと受け継ぎ、同校の校章の意義にもある、融和・親睦・結束で勇ましく、未来へはばたいてほしい」と激励の言葉を述べた。

記念式典終了後、児童による学習発表会、老人クラブや婦人会などの創作ダンスや踊りなどがあり、その後、潮観園に場所を移し



小野津小

た」と関係者。当日は関西奄美会の植村映三郎会長が来島し、同小の六年生、岩田進・湾区長、倉本禎彦・中里区長らと植樹した。

植村会長は「今日の思い出が、将来故郷を思う心につながるのでは」と期待を寄せていた。



交流会には約二百人が参加。うち敬老者（七十歳以上）七十四人の長寿者を祝うとともに、島唄やカラオケなどの余興を楽しみ、最後は六調で大いに盛り上がった。



て記念祝賀会を開き、創立百周年の節目の年を盛大に祝った。



響け僕らのハーモニー

平成18年度小中高音楽発表会

平成十八年度町小・中・高音楽発表会が十一月二十二日、町体育館で開催され、町内の小・中・高校生約四百人が美しい演奏や歌声を披露した。

同会は日頃の学習の成果を発表することで、町の音楽教育の振興

を図り、感性豊かな音楽性を培い、情操を高め、創造性を養うことを目的としている。

ステージでは小野津小学校の小野津獅子太鼓を皮切りに、合唱・吹奏楽など十三の演目が繰り広げられた。児童・生徒たちは二学期の行事で多忙な中、合間に積み重ねた練習の成果を、歌や演奏に乗せて存分に披露していた。

200人が六調で乱舞

鹿児島市で喜界連合会交流会

全国喜界会連合会（乾善人会長）の交流会がこのほど鹿児島市であり、直島秀守収入役や岩田進・湾区長、倉本禎彦・中里区長らが出席した。

同会は「各郷友会が連帯を深め、共に共有する郷里喜界の発展を願い、伝統文化を継承し次の世代への橋渡しとなる」ことを目的に、平成十一年に設立。以降、二年一回の割合で、本町夏祭りに合わせて開催されてきたが、今回からさらに各郷友会組織の交流促進を図るため、各地で開催されることになった。

お知らせ

独立行政法人奄美群島振興開発基金からのお知らせ

奄美基金は産業の振興を目的に、保証業務及び融資業務により、群島内事業所の方々へ事業資金を供給しています。

▼保証業務は、金融機関から借り入れる際に取引が無い、信用不足などで必要な資金調達が難しいなどの場合に、奄美基金が公的信用保証を行うことで円滑な資金調達を促進する制度で、農林漁業を含む奄美群島内の事業者ほとんどの方が対象になります。

※借入の際には信用保証料が必要となります。
※保証にあたっては所定の審査が必要となります。

▼融資業務は、農林漁業、大島紬、黒糖焼酎、観光など奄美の特性を活かした事業に対して、長期・低利(固定金利)の資金の直接貸付で支援します。

※資金使途の事例
▽農林業(農機具購入・農地購入・農地造成など)
▽水産業(漁船・器具購入・養殖施設の整備など)
▽観光関連業(民宿建設・観光客向け郷土料理店建設など)

※問い合わせ

・独立行政法人奄美群島振興開発基金業務課(☎52-4511)
・喜界町役場産業振興課(☎55-1111)

「奄美あんぜん・あんしんメール」会員登録中!

奄美大島防犯団体連絡協議会・奄美警察署及び瀬戸内・宇検防犯協会連合会・瀬戸内警察署では、子供達の安全確保や犯罪抑止等のため、管内で発生した事件事故情報、防犯パトロールなどに有益な情報等の身近な「安全情報」を携帯電話のEメール機能を使用して、いち早く登録会員に配信する活動を行っています。

携帯電話をお持ちの方は是非会員登録をお願いします。会員が増えれば増えるほど安全・安心な町をつくることができます。

▽会員登録要領

お持ちの携帯電話から奄美大島防犯団体連絡協議会アドレス amami-borhan@po5.synapse.ne.jp宛に

・市町村名(居住地等の市町村名のみ:奄美市、龍郷町、喜界町、大和村、瀬戸内町、宇検村)
▽登録料及び会費
無料です。ただし、1回のメールの受信につき、1円から2円の通信費用がかかります。

(携帯電話の契約会社により、通信費用が異なります)

▽メール受信の設定

Eメールの受信で、迷惑メールの受信制限の設定をされている方は、解除するかドメイン指定する等、受信できるように設定の変更が必要です。

※問い合わせ

奄美大島防犯団体連絡協議会
☎(53)0110

不動産・商業・法人登記事務のオンライン登記申請が始まりました!

これまで、窓口(郵送可)に提出する必要がありました。新たにインターネットを利用してオンラインにより申請することもできるようになりました。

この場合、登記の申請情報及び添付情報は、インターネットを利用して送信する必要があります。

※お問い合わせ

鹿児島地方事務局 喜界出張所(☎65-4308)

勤労者ファミリー資金

勤労者ファミリー資金は鹿児島県と九州労働金庫との協調融資です。県内の中小企業にお勤めで県内在住の方であればご利用いただけます。

▽資金種類

遅払貸金補てん資金/育児・介護休業資金/教育資金/医療資金/冠婚葬祭資金

▽融資利率

遅払、育児・介護/2・0%
その他/2・2%
(別途保証料0・7%~1・2%)

▽融資限度額

遅払貸金補てん/60万円
育児・介護/100万円
教育/200万円

医療、冠婚葬祭/150万円

▽融資期間(据置期間を含む)

教育/10年以内
その他/5年以内

※問い合わせ

九州労働金庫県本部(☎09-9122512217)または最寄りの支店

県庁雇用労政課(☎0991-28613014)

「3ない」で病害虫のまん延防止にご協力を!

奄美群島・トカラ列島・沖縄には、サツマイモに被害を与えるアリモトキゾウムシや、柑橘類に被害を与えるカンキツグリーニング病などの病害虫が発生しています。これらの病害虫の寄主となるサツマイモ・アサガオや柑橘類の苗木などは、法律により発生地域から未発生地域への移動が規制されています。

これらの病害虫がまん延しないよう、手荷物や小包などで「持ち出さない」「送らない」「送ってもらわない」ようご協力をお願いいたします。

▽問い合わせ先

県庁食の安全推進課(☎09-9128612891)

平成19年度県立高等技術専門学校訓練生募集

▽応募資格
中学校卒業(見込者を含む)もしくは同等以上の学力を有する方

▽対象科

金属加工科(吹上校)、室内造形科(宮之城校)

▽募集期間

12月15日(金)~平成19年1月15日(月)

▽選考日

平成19年1月26日(金)

▽選考方法

筆記試験および面接

お詫びと訂正

広報きかい10・11月号に氏名の誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

※10月号・香典返し

福島喜代一↓福村喜代一

※11月号・戸籍の窓

西尾勝治↓西尾勝幸

平成19年度保育所入所の申し込み



- 【受付期間】 平成19年1月9日(火)～2月9日(金)
 【申込用紙】 第一保育所、第三保育所、保健福祉課にあります。
 【提出先】 第一保育所
 【申込要件】 両親のいずれもが次のいずれかの事情にある場合であって、かつ同居の親族その他の者が児童を保育できない場合。

- ① 昼間に家庭外で労働することを常態としていること。
- ② 昼間に家庭内で児童と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としていること。
- ③ 死亡、行方不明、拘禁などの理由により親がいない家庭の場合。
- ④ 母親が出産の前後、病気、負傷、心身に障害がある場合。
- ⑤ 家庭に長期にわたる病人や心身の障害のある人があり、親がいつもその看護にあたっている場合。
- ⑥ 火災、風水害、地震などにより家を失ったり、破損したため、その復旧の間、児童の保育ができない場合。

【保育所紹介】

保育所名	喜界町立第一保育所	喜界町立第三保育所
設立	昭和46年4月1日	昭和52年4月1日
所在地	鹿児島県大島郡喜界町湾1796番地	鹿児島県大島郡喜界町早町498番地
定員	90名	30名
該当年齢	1歳～小学校就学前の児童	1歳～3歳の児童
クラス	5クラス	2クラス
職員構成	所長、主任、保育士、栄養士、調理員	所長、保育士、調理員
開所日	休日 日曜日、祝日 12月29日から翌年の1月3日までの日 保育終了日から翌年度の入園日までの間2日を除いた日	
保育時間	午前8時30分～午後5時15分 ※ただし、両親、家族の就労時間に支障をきたすと認められる家庭や緊急時に限り、午前7時30分～午後5時30分まで	午前8時30分～午後5時15分 ※ただし、両親、家族の就労時間に支障をきたすと認められる家庭や緊急時に限り、午前8時～午後5時15分まで
保育料	保育所徴収金額表（前年度分の市町村民税、所得税課税の額の区分7階層）により決定	
保育方針	○子どもの人権や主体性を尊重し、保護者や地域社会と協力し合いながら豊かな愛情と知性と技術をもって、乳幼児の保育を行う。 ○地域の子育て支援として、保育に関する相談に応じ、助言など社会的役割を果たす。	
	《めざす子ども像》 ○ 元気な 子ども ○ 明るい 子ども ○ 思いやりのある 子ども	《めざす子ども像》 ○ 元気な 子ども ○ 思いやりのある 子ども ○ やる気のある 子ども
年間行事	☆毎月行う行事 避難訓練（年2回総合訓練）、身体測定、誕生会 ☆その他、主な行事 七夕、七五三、運動会、遠足、発表会、餅つき、クリスマス会、節分、ひなまつり等	
健康診断	内科検診（年2回）、歯科検診（年1回）、検尿、蛭虫検査（年1回）	

★保育参観は保護者の都合に合わせて随時行います。

★第一保育所では、子育て支援として毎週金曜日の午前中にふれあい教室を行っています。
場所は、子育て支援センター（保育所に隣接しています）

※詳しくは第一保育所（☎65-0264）へお尋ねください。



家庭学習の方法を模索

平成18年度町教育委員会 委嘱P T A活動研究公開

吹奏楽部のアトラクション



第一中学校P T Aの事例発表

十一月十二日に、第一中学校で標記研究公開が実施されました。今年度は「家庭学習60・90運動」を確実に実践にするため、共通実践テーマを「子どもに家庭学習の習慣を身につけさせるためには学校・家庭の連携や取り組みはどうすればよいか」と設定し、本町全体の学力アップに取り組みました。

第一中学校P T Aの事例発表では、各学年毎に学習プランへの取り組みと学習環境の整備に努め、実際に行ってきたことを二カ月周期でマネジメントサイクル「計画

冬の省エネキャンペーン

(12月1日～3月31日)

冬は暖房の使用などによってエネルギーの消費が増える時期です。12月～3月に冬の省エネルギーキャンペーンを行い、省エネルギーを呼びかけます。部屋は温め過ぎず衣類で調節するなど、家庭や学校、職場や地域での省エネへの一層の取り組みが必要です。エネルギーを効率的に使う方法を考え、「スマートライフ」を実践しましょう。

「はたちの献血」 キャンペーン

(1月1日～2月28日)

献血者が減少しがちな冬期において安全な血液製剤を安定的に確保するため、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く国民各層に献血に関する理解と協力を求めるとともに、特に成分献血、400ml献血の継続的な推進を図ることを目的として、「はたちの献血」キャンペーンを行います。期間中は、全国各地で様々な取り組みが行われます。

子ども会の四大大行事の一つ「夜間歩こう会」を十月二十八日に実施

488人がチャレンジ! 第19回夜間歩こう会

子ども会の四大大行事の一つ「夜間歩こう会」を十月二十八日に実施

子ども会の四大大行事の一つ「夜間歩こう会」を十月二十八日に実施

参加者にとっては、具体的に成果の見える意見交換ができ、今後の各家庭や単位P T Aでの実践に参考になったことと思います。

喜界町生涯学習推進大会 第6分科会実践事項

今月号は、第六分科会で決定した実践事項を掲載いたします。

この喜界町生涯学習推進大会実践事項の掲載は、今月号で最後となりました。町民一人ひとりの一歩前進が、より良い島づくりにつながります。これからも町民一丸となって、課題解決に向けて取り組んでいきましょう。

（取組の決定）↓「実践（取組の周知徹底・実践）」↓「評価（生徒・保護者の変容把握）」↓「行動（次回への改善）」として、研究を深めてきたとの発表がありました。

今年中西コースと百之台コースに四百八十八名が参加し、親子や友達同士で仲良く語り合いながら、心地よい汗を流しました。

また、「子どもに家庭学習の習慣を身につけさせるためにはどうすればよいか」の演題で、元町教育委員会教育委員長の大畑倫氏を講師に招き、ご講演いただきました。

同イベントは、町子ども会育成連絡協議会と町教育委員会が、親子のふれあい、友達とのふれあい、また、心身の鍛錬を目指して毎年開催しており、今回で十九回を数えます。

実践していますか？

〈第6分科会〉
活力あるふるさと産業部会

地場産の農林水産物や加工品を愛用します。

とは勿論、町民も地場産の農林水産物や加工品に愛着と誇りを持ち、愛用したいものです。

喜界歌壇

秋風の渡る海面は夕づきてゆるゆる無音の闇に沈めり

林 蓮香

銀杏は幼なき日の夢の色丸くやさしく空に描ける

北島 シナ

サネン葉に包むおにぎり香り高くその美味しさを今に忘れず

有村 道子

おちこちに芙蓉の咲きて来たる秋平穩に過ぐ日々ありがたし

竹田ヨシ子

旅先で拾いし銀杏の葉二枚葉にせんと懐紙に包む

平尾 チヨ

風呂敷は古人の知恵なりき物も包めば情も包む

屋良ミノ子

大は小を包むに易き風呂敷よ何事も広き肝心欲し

美代 イシ

庭隅にあさあさ掃き溜む山茶花の花ポツポツと塵に浮き出て

郡 市子

夕刻を告げて流れる旋律に初冬の村落包まれてゆく

弥島 幸子

わが家のアイドル

父 橋本 博
母 留美 (2歳6カ月) (赤連)



わが家の一日の始まりは、「朝が来てよ！ オ・キ・テ!!」と道 (ワタル) の元気な声が合図となる。今は、マックインに夢中で車のおもちゃを並べながら何やら道 (ワタル) の楽しい世界が広がっている様子。まだまだ甘えん坊だけど、これからも元気にたくましく育ってほしいです。(父、母)

……喜界町の推計人口……

(平成18年11月30日現在)

世帯数……………3,775戸 (0)
人口……………8,509人 (+ 1)
男 ……………4,009人 (0)
女 ……………4,500人 (+ 1)
—— () は前月比——

氏名 保護者 住所
築瀬 彩良 淳 赤連
玉利 彩葵 学 湾
叶 紗優希 久美子 湾
西原 瑚子 清仁 赤連

こんにちは 赤ちゃん

戸籍の窓

12月届出

包装紙捨てるに惜しととりおきて贈り物など包まんとす
武田 幸子
柔らかく真白き湯船に包まれて一日の疲れ湯船に流す
嶺倉 祝子

梅田 光希 隆光 湾 (東園 里広 赤連)
界 翔希郎 亮太 中里 (林 真紀 赤連)
原 和聖 佳久 赤連

いつまでも お幸せに
ごめい福を お祈りします

梅田 隆二 佐手久 手久津久 福岡 かね 60才
幸田みゆき 鹿兒島市 荒木 依田 信次 85才
名越 卓也 池 治 湾 喜村金次郎 99才
具志頭はんな 湾

全国星空継続観察 (スターウォッチング・ネットワーク) (冬期/1月8日~21日)

肉眼や双眼鏡、カメラを使った身近な方法で、星の見え方を調べる「全国星空継続観察(スターウォッチング・ネットワーク)」。星空を観察することを通じて光害や大気汚染など大気環境問題への関心を高めてもらうことを目的に、毎年、夏と冬の2回実施しています。今年度の冬の観察は平成19年1月8日~21日です。参加申込方法は都道府県・政令指定都市・中核市の大気保全担当部局にお問い合わせください。詳細は環境省ホームページに掲載しています。

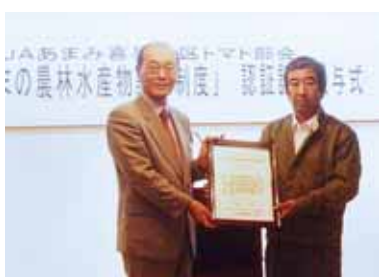
◆防災とボランティア週間 (1月15日~21日)

◆防災とボランティアの日 (1月17日)

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、ボランティアや住民相互の自主的な救助活動が果たす役割の重要性が認識されました。これを機に改正された災害対策基本法には、国や地方公共団体の責務として、ボランティアによる防災活動の環境を整備することが盛り込まれました。

1月17日は「防災とボランティアの日」、1月15日~21日は「防災とボランティア週間」です。期間中、国や地方公共団体等は、全国各地で防災ボランティア活動に関するさまざまな普及・啓発活動を行っています。

証の数々！ ～受賞の喜び～



喜界の桃太郎トマト

かごしまのブランドに成長

県産農林水産物に対する消費者の「安心・安全」を確保する基準をクリアし、北大島地区で初の認定を受け、今後の生産拡大を目指す。写真＝認証証書授与式（12月7日）



ちびっこ！日本一の唄者 界 眞子さん(湾小学校2年)

東京で開かれた「第8回民謡民舞少年少女全国大会」で、「塩道長浜」を熱唱！小学校低学年の部で見事日本一の栄冠を手にしました。（8月）



秋の叙勲「瑞宝双光賞」 中山 續氏（湾在住）

昭和25年町消防団中央分団入り。49年から分団長、56年から平成4年まで消防団長を努め長年の町の生命・防災に貢献し、長年の消防功勞により受賞。



「ふるさとと田んぼと水」子ども絵画展 優秀賞に柳美羽さん（湾小2年）

農村の自然や景観に対する国民の関心を高めることが目的で、全国土地改良事業団体連合会が主催する同絵画展で受賞。



アリモドキゾウムシ根絶「標語・ ポスターコンクール」最優秀賞 標語：酒井里菜さん（湾小1年） ポスター：柳美羽（同2年）

アリモドキゾウムシの根絶実証事業の一環として毎年実施され、啓発が目的。小中学生488点の応募から中から二人が最優秀賞を獲得。



極真カラテ 日本2位の座に就く 藤山茂樹氏（手久津久在住）

京都市で開催された新極真会の「第10回オープントーナメント全日本マスターズ空手選手権」で35～42歳クラスで出場。同クラスで最年長ながら堂々の準優勝に輝く。写真は世界的に有名な南アフリカのアイザック・マシニーニ師範とのツーショット！



第57回鹿児島県図画作品展 県美育協会賞に萩原麻美さん 早町中学校1年

第57回鹿児島県図画作品展に画題「明るいベンチの屋根うら」を出展。「色彩に気を配りました」と笑顔で話していました。早町中学校技術室から描いた作品と表彰の盾を手写真に納まりました。



KKBふるさとCM大賞2006 喜界町が努力賞を受賞！

制作：服部 晃氏（中里在住）
手づくりふるさと自慢を題材に服部氏が喜界町のCM制作をプロデュース。写真＝自宅にあるビデオ制作部屋でのワンショット。



学校安全賞に輝く 早町小学校

文部科学省が学校保健又は学校安全の推進に功績があり、学校保健及び学校安全の全国的な水準の向上に貢献した学校に対して贈られるもの。